

2013年(平成25年)2月22日 金曜日 第11回 第1分科会 第11回

役所勤め 残業にのまれる

追いつめられて



死亡した松本善喜さん

公務災害

公務員が、仕事が原因でけがをしたり病気になった働く人の労働災害にあたる。民間企業である。地方公務員の場合、各都道府県と政令指定都市に支部がある地方公務員災害補償基金が、公務災害にあたるかを定める。認定されると、治療費などが出る。基金のもとになるお金は自治体などが出している。

過労による精神疾患は、仕事内容や勤務時間をもとに総合的に判断する。勤務を1カ月以上続けた場合は、認定される可能性がある。国家公務員の場合は、所属する省庁が人事院と協議して判断する。

美香さんは08年に徳島大を卒業。町役場に就職し、税務課に配属された。父勤治さん(82)によると、もともと「地元で働きたい」という希望があったという。

母が選んだのは、町民生活課に異動して1年半は死んだ松本善喜さん

2008年5月16日、高知県・新富町役場の職員だった松本美香さん(当時28)が、大粒の睡眠薬を飲んで死亡した。戸籍や住民票の手続きを行う町民生活課(当時)の窓口担当だった。

朝、母の久美子さん(66)が部屋で倒れているのを見つけた。起すようにしても反応がない。頭が真っ白になり、娘の背中をさすり続けた。

「追いつめられて」

「追いつめられて」

「リセットボタンないかな」

働く人が過労に悩むのは、民間企業だけでなく、地公災基金によると、11年度に長時間労働や仕事のストレスが原因で精神疾患になったと認められたのは全国で12人。そのうち4人が死亡している。

間、その前の1カ月で約101時間以上だった。

父は「民間より待遇が良かった。市役所を選んだ。」

「リセットボタンないかな」

死亡した松山市の男性が書いていたブログ。市役所に就職して10日後、仕事の泡負をつづっていた

父は「民間より待遇が良かった。市役所を選んだ。」

「リセットボタンないかな」

死亡した松山市の男性が書いていたブログ。市役所に就職して10日後、仕事の泡負をつづっていた

父は「民間より待遇が良かった。市役所を選んだ。」